

# お詫びと訂正（正誤表）

2016 年 7 月 4 日現在

Ver.3.0

本書の以下の部分に誤りがありました。ここに訂正するとともに、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。 ※書籍第 2 版で修正の入っているものも含めて掲載しております。

## ◇この本でつくる Web アプリ

- 新規画面の URL  
誤： <http://localhost:8000/request/edit>  
正： <http://localhost:8000/request/create>
- 変更画面の URL  
誤： <http://localhost:8000/request/create>  
正： <http://localhost:8000/request/edit>

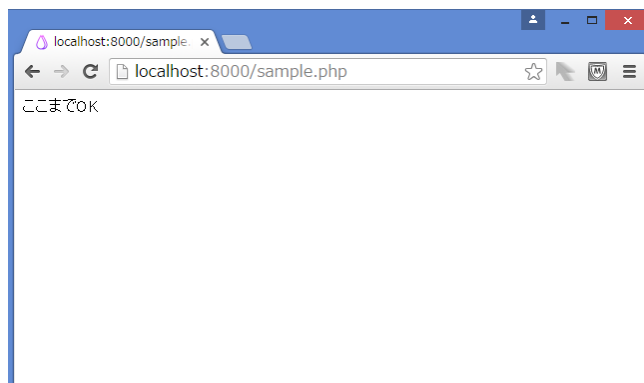
## ◇本書に関するお問い合わせ

- ご質問送付先の 1 行目  
誤： Web ページより  
正：【サポートページ】 <http://froide-kk.co.jp/donichi/>  
【公式 facebook】 <https://www.facebook.com/donichi.p1.froide/>

## ◇序章

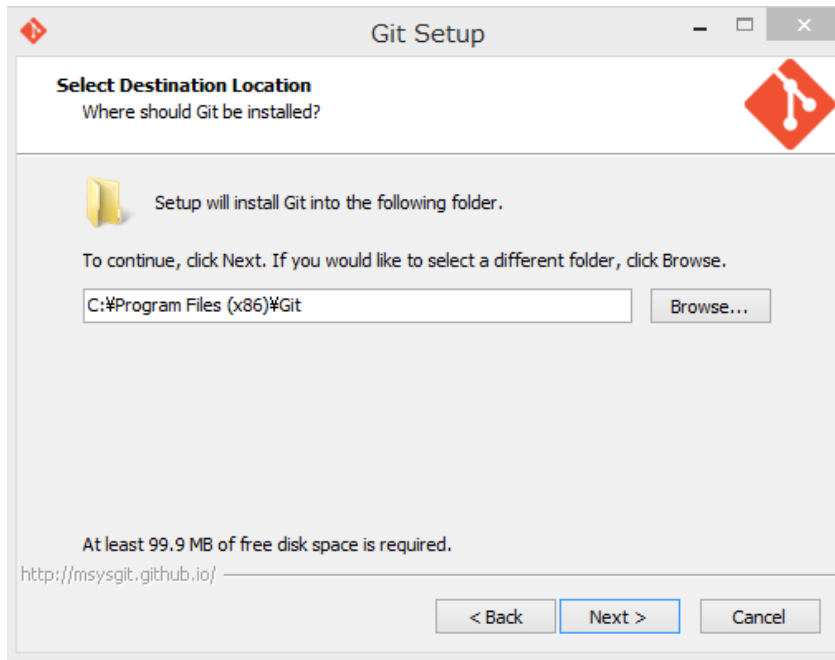
第 3 節 「あれ？正しく動かない……」 ときの 4 つのポイント

- P.14 1 回目の画像  
誤：”ここまで OK”  
正：ここまで OK  
▼画像を差し替え

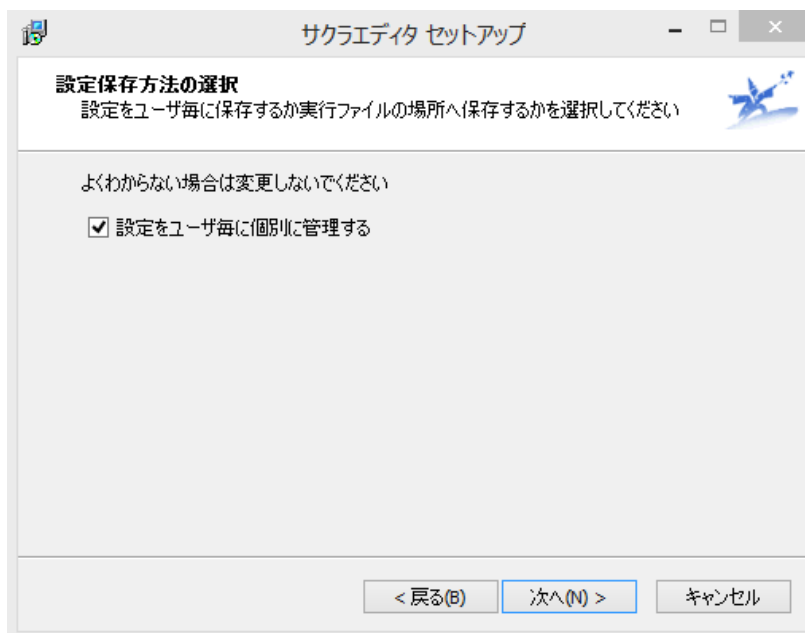


## 第2節 ダウンロード&インストール

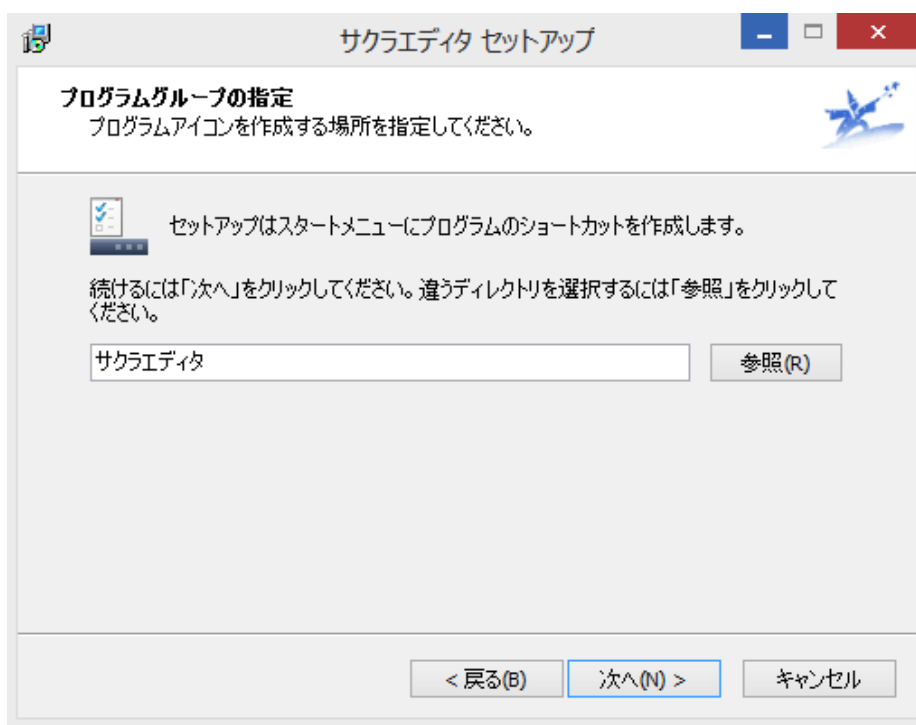
- P.35 手順5「インストール先の指定画面」に下記の画面イメージを追加。
  - 5.インストール先を指定する画面が表示されますので、そのまま[次へ(N)>]ボタンをクリックしてください。



- P.41 手順6「コンポーネントの選択画面」の次に下記の手順を追加。
  - ・設定保存方法の選択画面が表示されるので、そのまま、[次へ(N)>]ボタンをクリックしてください。



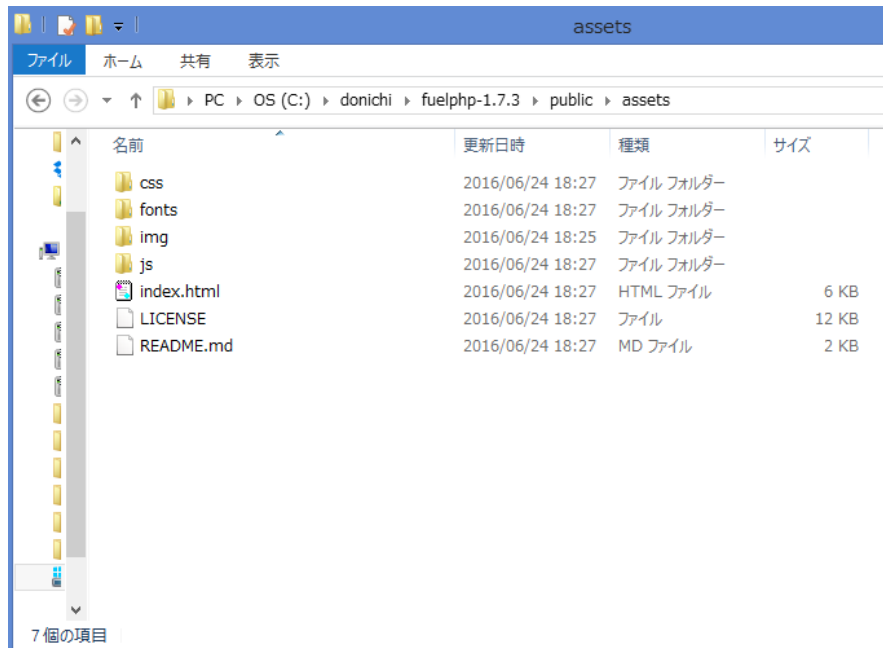
- P.41 手順 7「プログラムグループの指定画面」に下記の画面イメージを追加。  
7.プログラムグループの指定画面が表示されますので、そのまま、[次へ(N)>]ボタンをクリックしてください。



- P.47 手順 2 の startbootstrap-small-business-1.0.3.zip の解凍の際に、下記の手順が追加になります。  
「すべて展開」後、展開ボタンをクリックすると下記のウィンドウが表示されますので、「ファイルを置き換える (R)」をクリックしてください。



展開後の C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥public¥assets のフォルダ構成は下記のようになります。



※この訂正に伴い、P.119 ページの下部のあいさんのセリフ内の `small-business.css` のコピーは必要ありません。

- P.49 Git と Vagrant がちゃんとインストールされているか確認します。  
誤：コマンドプロンプトに次のように Vagarnt と Git の  
正：コマンドプロンプトに次のように Vagrant と Git の

## ◇土曜日 Saturday

### 第2節 繰り返し文を使ってみる

- P.79 Step Up! 変数のルール  
誤：次は半角英字またはアンダースコア(`_`)からはじまり、それ以降は半角英数字とアンダースコアを組み合わせ指定します。  
カタカナひらがな漢字記号などを含めた全角は使えません。  
  
正：次は文字またはアンダースコア(`_`)からはじまり、それ以降は半角英数字、アンダースコア、文字（カタカナ、ひらがな、漢字等）が使用できます。
- P.80 例) 良い例、悪い例  
誤：良い例：`$_123`、`$a_`、`$_a`  
悪い例：`$123`、`$a_`、`$変数`  
正：良い例：`$_123`、`$a_`、`$_a`、`$変数`  
悪い例：`$123`

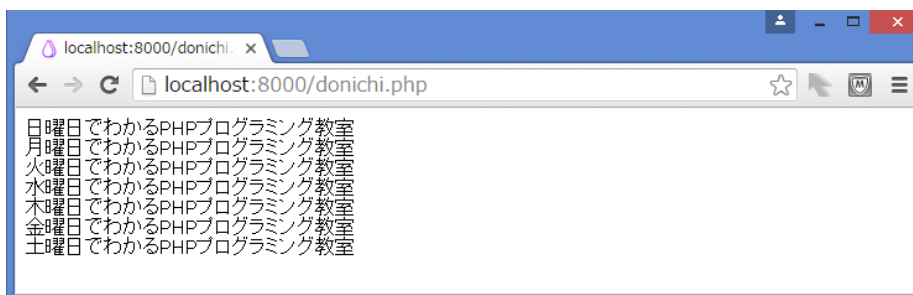
### 第3節 配列を使ってみる

- P.85 重要! 連想配列についての2行目  
誤: 次のP.83  
正: P.83

### 第4節 繰り返し文を使ってみる

- P.90 繰り返し処理で表示された画面  
誤: できるPHP入門  
正: わかるPHPプログラミング教室

#### ▼画像を差し替え



- P.91 C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥public¥donichi.phpの4行目  
※網掛け範囲と数字を訂正。  
誤: 04 for(\$i=6; \$i>=0; \$i--){  
正: 04 for(\$i=7; \$i>=0; \$i--){
- P.92 あいさんのセリフ  
誤: この\$iが0以下の間は  
正: この\$iが0以上の間は
- P.92 ななこののセリフ  
誤: 「以下」と「より小さい」って違いましたっけ?  
正: 「以上」と「より大きい」って違いましたっけ?

## 第6節 PHP でカレンダーをつくってみよう

- P.111 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥public¥donichi.php のコードの 10 行目

※変更箇所のため太字。

誤 : 10 print \$value;

正 : 10 **print \$value;**

- P.120 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥public¥donichi.php のコードの 20 行目

誤 : if (\$week\_number == 6 || \$i==date("t")) {

正 : if (\$week\_number == 6 || (\$i+1)==date("t")) {

- P.127 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥public¥donichi.php のコードの 31 行目

※本書のコードでは、PHP5 では E\_STRICT 警告ですが、PHP7 になると E\_DEPRECATED 警告となります。今後の PHP のバージョンアップで動かなくなる可能性がありますので訂正いたします。

誤 : 30 class Print\_Calender{  
31 function space\_cell(\$count){  
32 if (\$count!=0){

追加します。

正 : 30 class Print\_Calender{  
31 **static** function space\_cell(\$count){  
32 if (\$count!=0){

- P.130 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥public¥donichi.php のコードの 29 行目

※本書のコードでは、PHP5 では E\_STRICT 警告ですが、PHP7 になると E\_DEPRECATED 警告となります。今後の PHP のバージョンアップで動かなくなる可能性がありますので訂正いたします。

誤 : 28 class Print\_Calender{  
29 function space\_cell(\$count){  
30 if (\$count!=0){

追加します。

正 : 28 class Print\_Calender{  
29 **static** function space\_cell(\$count){  
30 if (\$count!=0){

- P.131 ▼C:¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥public¥donichi.php のコードの 3 行目と 12 行目  
 ※本書のコードでは、PHP5 では E\_STRICT 警告ですが、PHP7 になると E\_DEPRECATED 警告となります。今後の PHP のバージョンアップで動かなくなる可能性がありますので訂正いたします。

```
誤：02 class Print_Calendar extends Today_Calendar{
    03 function space_cell($count){
    04     if($count != 0){
        (……省略……)
    11 class Today_Calendar{
    12 function today($day){
    13     if(date("Y/m/d")== date("Y/m/d", mktime(0, 0, 0, date("n"), $day, date("Y")))){
```

```
正：02 class Print_Calendar extends Today_Calendar{
    03 static function space_cell($count){
    04     if($count != 0){
        (……省略……)
    11 class Today_Calendar{
    12 static function today($day){
    13     if(date("Y/m/d")== date("Y/m/d", mktime(0, 0, 0, date("n"), $day, date("Y")))){
```

追加します。

## ◇日曜日 Sunday

### 第 2 節 作成したプログラムを見てみよう

- P.157 ▼C:¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥views¥tweet¥index.php のコードの 3 行目  
 誤：03 </ul>  
 04 <p>Index</p>  
 正：03  
 04 </ul>  
 05 <p>Index</p>
- P.158 図「oil▼g▼controller」コマンドで生成された index.php ページ  
 誤：Index 表示(index.php の 04 行目)  
 正：Index 表示(index.php の 05 行目)
- P.161 この節で学んだことの template.php の説明  
 誤：書かれているファイル：View プログラム)  
 正：書かれているファイル)：View プログラム
- P.164 ななこの最初の吹き出しの 1 行目  
 誤：tweet/index.php  
 正：tweet/index

#### 第4節 ページを追加してみよう

- P.177 Step Up! 例)・Controller プログラム側の2行目

誤 : `$data["message"] = 'メッセージ'`

正 : `$data["message"] = 'メッセージ';`

- P.177 Step Up! 例)・View プログラム側

誤 : `print $title";`

`print $message";`

正 : `print $title;`

`print $message;`

#### 第5節 作成したプログラムを見てみよう

- P.181 キーワード RDB (リレーショナルデータベース) とは?

誤 : 1. 列 ……No の1、2 や姓の山田、花子などの、

正 : 1. 列 ……No の1、2 や姓の山田、佐藤などの、

#### 第6節 「おねがい」 ページをつくってみよう

- P.189~P.190 ▼C:\fuelphp-1.7.3\fuel\app\config\config.php の行番号

誤 :

```
(……省略……)
259 /* Always Load
*/
260 /*****
*****/
261 // 'always_load' => array(
262
263 /**
264 * These packages are loaded on Fuel's startup.
(……省略……)
273 */
274 // 'packages' => array(
275 // 'orm',
276 // ),
277
278 /**
279 * These modules are always loaded on Fuel's startup. ……
(……省略……)
311 * If you don't want the lang in a group use null as
groupname.
312 */
313 // 'language' => array(),
314 // ),
315
316 );
```



正 :

```
(.....省略.....)
257 /* Always Load
*/
258 /*****
*****/
259 // 'always_load' => array(
260
261 /**
262 * These packages are loaded on Fuel's startup.
(.....省略.....)
271 */
272 // 'packages' => array(
273 // 'orm',
274 // ),
275
276 /**
277 * These modules are always loaded on Fuel's startup. ....
(.....省略.....)
307 * If you don't want the lang in a group use null as
groupname.
308 */
309 // 'language' => array(),
310 // ),
311
312 );
```

● P.196 ④

誤 : 一覧画面に入力した「おねがい情報」と「IP アドレス」がちゃんと表示されているか確認し、「Add new Request」をクリックします。

正 : 一覧画面に入力した「おねがい情報」と「IP アドレス」がちゃんと表示されているか確認します。

● P.196 ⑤

誤 : (P.182 「2. ログインと初期設定」参照)、

正 : (P193③参照) request テーブルに、

- P.201 (オ) ▼クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)対策のための機能を有効にする。を追記。

※クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)について

クロスサイトリクエストフォージェリ(以降、**CSRF**)とは、別のサイトに用意したコンテンツ上の罠のリンクを踏ませること等をきっかけとして、インターネットショッピングの最終決済や退会等 Web アプリケーションの重要な処理を呼び出すようユーザを誘導する攻撃です。

FuelPHP では、こういった攻撃の対策のための機能が搭載されています。

- ① C:\donichi\FuelPHP-1.7.3\Fuel\App\Config\Config.php ファイルを開きます。
- ② 以下のグレーの部分のコメントアウトを解除し、**CSRF** 対策機能を有効にすると簡単に実装することができます。Scaffold で生成されるコードでは実装されないので、手動で実装します。

▼C:\donichi\FuelPHP-1.7.3\Fuel\App\Views\Request\_Form.php

※行数は FuelPHP のバージョンによって異なります。

(……省略……)

```
112 /**
113  * Security settings
114  */
115 'security' => array(
116 // 'csrf_autoload'    => false,
117 // 'csrf_token_key'   => 'fuel_csrf_token',
118 // 'csrf_expiration' => 0,
119
120 /**
(……省略……)
```

- P.203 ▼C:\donichi\FuelPHP-1.7.3\Fuel\App\Views\Request\_Form.php のコードの 4 行目 ※Scaffold で生成されたコードでは、クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)対策のための機能が含まれていないため、追加します。

誤 : 01 <?php echo Form::open(array("class"=>"form-horizontal")); ?>  
02  
03 <fieldset>  
04 <div class="form-group">  
05 <?php echo Form::label('Body', 'body', array('class'=>'controllabel'));?>

正 : 01 <?php echo Form::open(array("class"=>"form-horizontal")); ?>  
02  
03 <fieldset>  
04 <div class="form-group">  
05 <?php echo Form::hidden(Config::get('security.csrf\_token\_key'), Security::fetch\_token()); ?>  
06 </div>  
07 <div class="form-group">  
08 <?php echo Form::label('Body', 'body', array('class'=>'controllabel'));?>

追加します。

- P.205 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥classes¥controller¥request.php の 25 行目と 66 行目

※Scaffold で生成されたコードでは、クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)対策のための機能が含まれていないため、追加します。

```
誤 : 22     'body' => Input::post('body'),
      23     Input::ip()
      24     ));
      25     if ($request and $request->save()
          (……省略……))
```

```
正 : 22     'body' => Input::post('body'),
      23     'ip' => Input::ip()
      24     ));
      25     if (Security::check_token() and $request and $request->save()
          (……省略……) request.php
      64     $request->ip = Input::ip();
      65     if (Security::check_token() and $request->save()
      66     {
      67     {
      68     Session::set_flash('success', 'Updated request #' . $id);
```

追加します。

追加します。

- P.208 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥views¥request¥index.php のコードの 26 行目と 30 行目

※substr 関数では文字列を指定の長さだけ切り詰める関数なので、一部の文字が文字化けする可能性があり、Str クラスの truncate 関数を使用するように訂正します。

```
誤 : 25     <div class="col-md-4" >
      26     <h3><?php echo substr($item->body,0,36); ?></h3>
      27     <p> 【投稿日時】
      28     <?php echo date("Y-m-d H:i", $item->created_at); ?></p>
      29     <p> 【IP】 <?php echo $item->ip; ?></p>
      30     <p><?php echo substr($item->body,0,240); ?></p>
      31     <?php echo Html::anchor('request/edit/'.$item->id, '<i class="icon-wrench">
```

変更します。

```
正 : 25     <div class="col-md-4" >
      26     <h3><?php echo Str::truncate($item->body,12, " ", true); ?></h3>
      27     <p> 【投稿日時】
      28     <?php echo date("Y-m-d H:i", $item->created_at); ?></p>
      29     <p> 【IP】 <?php echo $item->ip; ?></p>
      30     <p><?php echo Str::truncate($item->body,80, " ", true); ?></p>
      31     <?php echo Html::anchor('request/edit/'.$item->id, '<i class="icon-wrench">
```

変更します。

- P.208 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥views¥request¥index.php のコードの 26 行目の説明

誤 : substr : 第 1 引数で指定された引数の文字列を、第 2 引数から (0 の場合は頭から)、第 3 引数のバイト数分返す標準関数です。

正 : Str::truncate : 第 1 引数で指定された引数の文字列を、第 2 引数の文字数分切り詰める関数です。第 3 引数は、切り詰めた文字部分に表示する文字を指定します。

- P.215 ⑦保存成功時、¥request¥index.php が実行され、ブラウザに画面が表示される。の 3 行目

誤 : 26 行目 : 「おねがい情報」の本文 (\$item->body) を文字列の一部分を返す標準関数 (substr)

正 : 26 行目 : 「おねがい情報」の本文 (\$item->body) を文字列の一部分を返す関数 (Str::truncate)

- P.208 28 行目

誤 : <?php echo date("Y-m-d H:i", \$item->created at); ?></p>

正 : <?php echo date("Y-m-d H:i", \$item->created\_at); ?></p>

- P.213 ▼C:¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥classes¥controller¥request.php の 26 行目

※P.205 の変更による影響。

誤 : 23     'ip' => Input::ip()  
      24     ));  
      25  
      26     if (\$request and \$request->save())  
      27     {

正 : 23     'ip' => Input::ip()  
      24     ));  
      25  
      26     if (Security::check\_token() and \$request and \$request->save())  
      27     {

追加します。

- P.216 29 行目

誤 : \$val->add\_field('ip', 'Ip', 'required|max\_length[255]);

正 : //\$val->add\_field('ip', 'Ip', 'required|max\_length[255]);